

# 住みよいまちをつくらう！

## みんなの町内会が大活躍

皆さんはお気付きでしょうか？  
通勤・通学途中の道路にきれいな花が咲いていること、ごみステーションがすっきり掃除されていること。公園で遊ぶ子どもを見守っている人や夜道をパトロールする人がいること。こうした活動を町内会が中心となって行うことで、住みよい環境がつくられているのです。

### さまざまな人が地域で一緒に暮らしている

「自分の家の周りがきれいになっていけると気持ちがいい」「みんなが安心して楽しく暮らせる地域になってほしい」誰もがそんな思いを持っていることでしょう。

お散歩しながらの  
パトロールなら、  
私にもできるかな。

アパートの前はきれいな方がいから、  
ごみ分けはちゃんと  
しなきゃな。



年齢や家族構成、生活スタイルなどが違うさまざまな人が、地域の中で一緒に暮らしています。単身世帯の増加や核家族化、少子高齢化の急速な進行などにより、近年は人々の価値観が多様化しているといわれますが、暮らしやすいまちを願う気持ちは、きつとみんな同じ。

誰もが気持ちよく暮らせる住みよいまちにするために、一人一人がルールやマナーを

守って生活するとともに、積極的に地域のまちづくり活動に参加することが求められています。

### 毎日の暮らしを支える町内会

住民が自ら会員となって、地域のために活動する町内会。現在白石区には、145の町内会があり、各地域の状況に応じて、さまざまな活動をしています。

ごみステーションやその周りの道路をきれいに清掃したり、防犯パトロールをしたり、また、冬の交通を確保するために住宅街の道路を排雪するなど、その活動は日々の生活に不可欠なものばかり。

さらには、一人暮らしの高齢者の見守りやお母さんたち

## 地域に暮らすみんなのために！！

### ◎地域で暮らすお年寄りを見守る ～救急医療情報キットを配布～

かかりつけの病院などを記入したカードと健康保険証の写しなどを容器に入れ、冷蔵庫に保管するこのキット。ステッカーを冷蔵庫に張って、万一のとき救急隊員にキットの存在を示す仕組みです。病院に搬送された際、カードに書かれた情報から、家族への連絡や適切な医療対応を早急に行うことができます。



救急医療  
情報キット



一人暮らしの高齢者などにキットを配布するこの取り組みは昨年から始まり、区内で徐々に広がっています。高齢者が安心して暮らせる「お守り」として役立つことが期待されています。

### ◎楽しみながら健康づくり

北白石地区では毎年「健康づくり教室」が開かれています。今年は太極拳に挑戦。体力アップに楽しく取り組み、「体がほぐれて気持ちがいい」「家でもできそう」と話しながら、心地よい汗を流していました。



### ◎子どもからお年寄りまで一緒に餅つき

北東白石地区の恒例行事「三代交流餅つき大会」。昨年は区のマスコットキャラクター「しろっぴー」も参加しました。世代を超えた触れ合いの輪が、自然に広がっています。

